Nikon

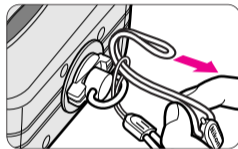
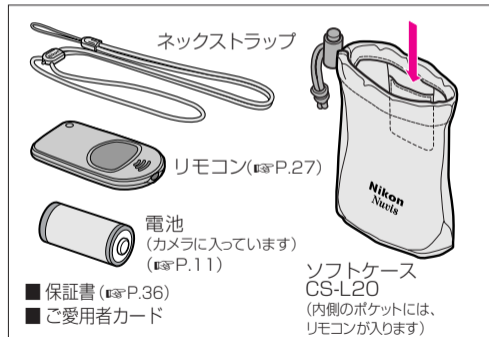
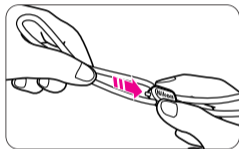
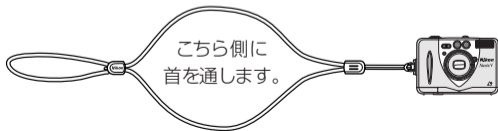
ニュービス

Nuvis V

使用説明書

はじめに

このたびは、ニコン Nuvis（ニュービス）Vをお買い上げいただき、ありがとうございます。
Nuvis Vはアドバンストフォトシステムの IX240カートリッジフィルムを採用したカメラです。
アドバンストフォトシステム対応カメラには、シンボルマークが表示されています。

付属品 次のものが揃っていることを確かめてください。

図のようにストラップを通します。

ストラップの止め具で長さを調節します。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。

表示と意味は次のようになっています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は、禁止(してはいけないこと)の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す)が描かれています。

アフターサービスと保証について

保証書とご愛用者カードが付いていますのでご確認ください。
保証書の詳細は、「アフターサービスと保証について」(☞P.36)をご覧ください。

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影の際には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するか確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸経費及び利益の喪失等に関する損害)については補償いたしかねます。

安全上のご注意 ― 本体について

⚠ 警　告

分解禁止

分解したり、修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてけがの原因となります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。

すぐに
修理依頼を

電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

すぐに
修理依頼を

電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと
失明や視力障害の原因となります。

発光禁止

車の運転者にむけてスピードライトを発光しないこと
事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと
視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

保管注意

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

⚠ 注　意

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は幼児の手の届かないところに置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

■使用説明書について

使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、当社サービス機関で新しい使用説明書をお求めください(有料)。

安全上のご注意 — 電池について

⚠ 警　告

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警　告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警　告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

電池の「+」「−」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水につけたり、濡らさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

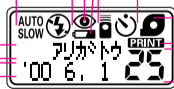
電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

もくじ

各部の名称

AE受光窓
スピードライト（☞P.23）
AF補助光ランプ／
赤目軽減ランプ
（☞P.26）
ファインダー窓（☞P.16）
プリントタイプ切り換えレバー
（☞P.16）
電源スイッチ（☞P.11）
シャッターボタン（☞P.15）
レンズカバー
（☞P.11）
レンズ
リモコン受光窓
（☞P.27）
オートフォーカス測距窓
ネックストラップ取り付け部
（☞P.2）
カートリッジカバー開閉レバー
（☞P.12）
Nikon
Nuvis V
C
H
P
ON
OFF

視度補正レバー（☞P.17）
オレンジランプ／緑ランプ（☞P.16）
ファインダー接眼窓（☞P.16）
/赤目軽減／
セルフタイマー／
リモコンボタン
（☞P.26～28）
途中巻き戻しボタン
（☞P.21）
／スピードライトモードボタン
（☞P.23～25）
電池室カバー／
電池室カバーボタン
（☞P.11）
ズームレバー（☞P.17）
表示パネル
ADJUST／ ボタン（☞P.29､30､32）
SEL／ ボタン（☞P.30､32､33）
TITLE／ ボタン（☞P.29～31）
DATEボタン（☞P.14）
カートリッジカバー（☞P.12）
三脚ネジ穴（☞P.27）
DATE TITLE SEL ADJUST
BATT ▽ OPEN
赤目軽減表示（☞P.26）
バッテリーチェック表示（☞P.11）
リモコン／セルフタイマー表示（☞P.27､28）
カートリッジ在中表示（☞P.13）
データ記録表示（☞P.14）
フィルムカウンター表示（☞P.13）
スピードライトモード表示
（☞P.23～25）
タイトル表示（☞P.30､31）
デート／同時プリント枚数表示
（☞P.14､29）
AUTO
SLOW
PRINT
'00 6. 1
25
表示パネル

このカメラは、こんなことができます

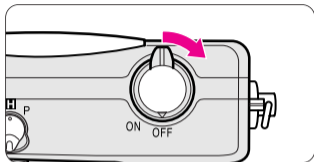
■ 縦横比が異なる3種類のプリントタイプが1コマごとに選べます。☞ P.16

C（クラシック）タイプ
（縦横比 2：3）

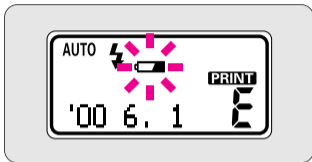
H（ワイドビジョン）タイプ
（縦横比 9：16）

P（パノラマ）タイプ
（縦横比 1：3）

■ 3倍ズーム（焦点距離22.5〜66mm）のズームアップが行えます。☞ P.17
■ 写真のウラ面に、“サイコー！”“オメデトウ”などのタイトル文字を印字できます。☞ P.30
■ 撮影時に、同時プリントの枚数（1〜9枚）を、1コマごとに指定できます。☞ P.29
■ 暗い場所や逆光時には、フラッシュが自動的に発光します。☞ P.23
■ カメラから離れて、リモコンで撮影できます。☞ P.27
■ MRC機能により、途中で巻き戻したフィルムも、再装てんして残りのコマを撮影できます。☞ P.21
■ 被写体に45cmまで近づいて近接撮影できます。☞ P.28
■ 電源をOFFにすると、レンズカバーが閉じ、ほこりやキズからレンズを保護します。

準備しよう！

電源を入れ、電池容量を確かめる

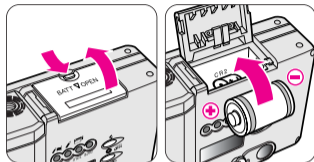
1 電源をONにする。

●電源をONにすると、レンズカバーが開き、レンズが繰り出します。

2 電池容量を確かめる。

●表示パネルに“▭”が点滅していたり、すべての液晶表示が消えているときは電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

●電池容量が充分なときは、“▭”が表示されません。

●カメラを操作しないまま、約2分間経過すると、自動的に電源がOFFになります。（☞P.33）

電池の交換

電池を交換する。

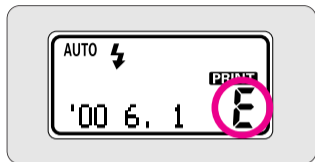
▼ボタンを押しながら、電池室カバーをスライドさせて開ける。

▼新しい電池と交換する。

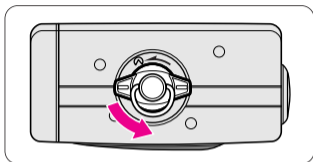
▼電池室カバーを閉じる。

●3Vリチウム電池CR2を1個ご使用ください。

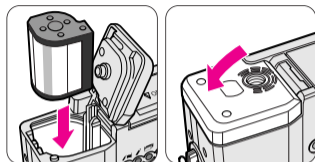
●電池を取り出すと、カメラの時計が停止します。日付・時刻を合わせてください。（☞P.32）

フィルムを入れる

1 “E”の表示を確認する。

●表示パネルに枚数が表示されているときは、撮影途中のフィルムが入っています。

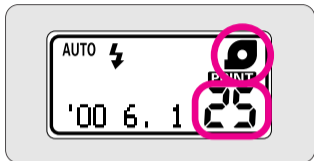
●“E”と“◘”が表示されているときは、撮影済みフィルムが入っています。フィルムを取り出してください。(☞P.19)

2 カートリッジカバーを開ける。

▼ **開閉レバーを矢印方向に回し、カートリッジカバーを開ける。**

フィルムが装てんされているときは、カートリッジカバーのロック機構が働いていますので、カートリッジカバーを無理に開けないでください。また、巻き戻しが完了し、モータが止まるまで、カートリッジカバーを絶対に開けないでください。

3 フィルムを入れ、カートリッジカバーを閉じる。

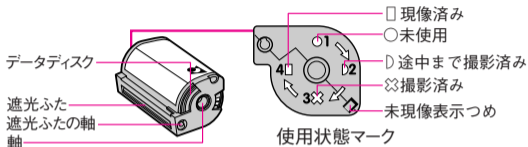
●IX240カートリッジフィルムをご使用ください。(従来の35mmフィルムは使用できません)

●使用状態マークが“○”(未使用)または“D”(途中まで撮影済み)であることを確認してください。(☞P.13)

●カートリッジカバーはカチッと音がするまで、しっかり閉じてください。

4 撮影可能枚数および "◘"の表示を確かめる。

●撮影可能枚数が表示されないときは、フィルムを入れ直してください。

●使用状態マークが "⛝"(撮影済み)、"□"(現像済み)のフィルムを入れると、"E"が点滅します。

IX240カートリッジフィルムについて

●IX240カートリッジフィルムには、40枚・25枚・15枚撮りの3種類のフィルムがあります。

●フィルムの先端部分は、カートリッジ内に収納されていますが、カメラに装てんすると自動的に引き出されて撮影可能な状態になります。

●カートリッジの使用状態マークはフィルムの使用状態を4段階で示します。

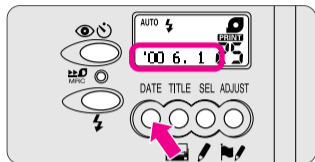
取り扱い上のご注意

●データディスク・遮光ふたまたは軸に触れたり、分解したり、強い衝撃を与えないでください。

●未現像表示つめを折らないでください。折れたときは、フィルム販売店などにご相談ください。

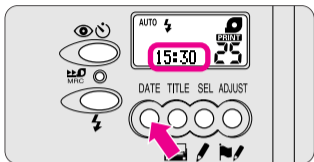
●次のような所に放置しないでください。

・直射日光が当たる　・暖房器具の近く
・チリやホコリが多い　・湿気が多い
・強い磁気がある

日付を入れる

日付表示を選ぶ。

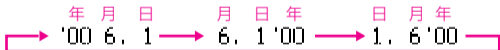
▼DATEボタンを押す。

●年は西暦の下2桁で、時分は24時間制で表示・印字されます。

●日付を入れないときは、"- - -"(印字なし)にしてください。

●DATEボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

年 月 日 '00 6. 1 → 時 分 15:30 → 印字なし - - -

●"- - -"が表示された状態でDATEボタンを2秒以上押し続けると、次のように切り換わります。

年 月 日 '00 6. 1 → 月 日 年 6. 1 '00 → 日 月 年 1. 6 '00

●"PRINT"が表示されている状態で撮影すると、表示されている日付や時刻がプリントに印字され、"- - -"の場合には印字されません。

●プリントに印字される位置は、認定ラボ店にお問い合わせください。

●日付・時刻を合わせる場合は、「日付と時刻を修正する」(☞P.32)をご覧ください。

撮影してみよう！

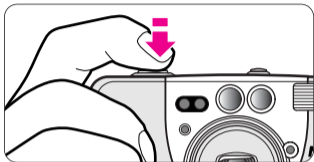
カメラの構え方

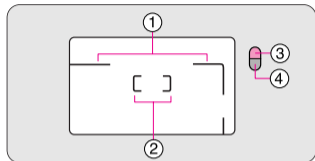
●両ひじを体につけながら、手のひらに包みこむようにして、カメラを顔に軽く押し当てるようにします。

●しっかりと構えることで、手ブレを防止できます。

●縦位置に構える場合は、スピードライトが上になるようにしてください。

手や髪の毛などで、レンズ、オートフォーカス測距窓やスピードライトなどをおおわないでください。

シャッターボタンの押し方

●シャッターボタンを軽く押して途中で止める操作を"半押し"と呼びます。半押しするとピントと露出が決まり、緑ランプが点灯します。半押し中はピントが固定(フォーカスロック☞P.22)されます。半押しから、さらに押し込むとシャッターがきれます。

ファインダーを見る

①近距離補正マーク
撮影距離が約0.45～1mのときに撮影される範囲です。(☞P.28)

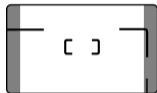
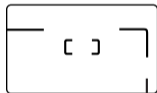
②オートフォーカスフレーム
ピントを合わせる部分です。

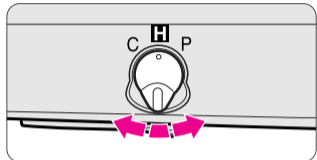
③オレンジランプ
フラッシュの充電が完了すると点灯し、未充電のときは点滅します。

④緑ランプ
ピントが合うと点灯し、ピントが合わないときや、被写体までの距離が約0.45m未満のときは点滅します。

撮影範囲フレーム

プリントタイプ(C/H/P)によって見える(撮影される)範囲が異なります。

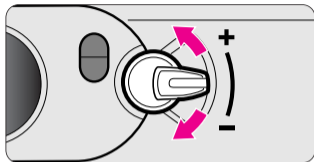
Cタイプ
(縦横比 2：3)
(従来の35mmフィルムと同じ縦横比)

Hタイプ
(縦横比 9：16)

Pタイプ
(縦横比 1：3)
(近距離補正マークは使用できません)

プリントタイプを選ぶ

撮影の前に、切り換えレバーでプリントタイプを選ぶ。

●3種類のプリントタイプ(C／H／P)が選べます(☞P.10)。タイプによって撮影範囲フレームが異なります。
●プリントタイプは、焼き増しの際に変更することもできます。

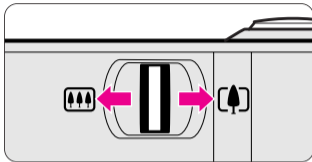
注意　切り換え禁止

ファインダーをのぞいた状態で切り換えレバーを操作しないこと
指先やつめで目などを突き、ケガの原因となります。

視度を補正する

●ファインダーがはっきり見えないときには、視度補正レバーを回して、オートフォーカスフレームが最もはっきり見えるように調整してください。

注意　使用注意　ファインダーをのぞいて調整するときに目を突かないように注意して操作すること

指先やつめで目などを突き、ケガの原因となります。

ズーミングする

ズームレバーを押して被写体の大きさを決める。

▼好みの大きさになったら、ズームレバーから指を離す。

●カメラを操作しないまま、約2分間経過すると、自動的にレンズが（広角）側に戻ります。（☞P.33）

側に押すと、望遠（66mm）側になり、遠くのものを大きく撮れます。

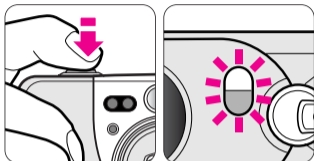
側に押すと、広角（22.5mm）側になり、広い範囲が撮れます。

ピントを合わせ、撮影する

1 構図を決める。

●ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを重ねてください。

●ピントが合う最短撮影距離は、約0.45mです。

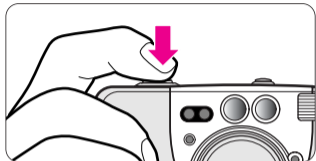
●撮影距離が約0.45～1mの場合は、近距離補正マークの枠内で構図を決めてください。(☞P.28)

2 ピントを合わせる。

▼シャッターボタンを半押しする。

●ピント合わせが完了すると、緑ランプが点灯します。

緑ランプが点滅する場合

遅い点滅：撮影距離が0.45m未満なのでシャッターはきれません。

早い点滅："ピントが合いにくいケース"(☞P.19)です。シャッターは、きれますが、ピントが合っていません。

3 シャッターボタンをゆっくり押し込む。

●被写体が暗いときや逆光時には、オレンジランプが点灯して、フラッシュが自動的に発光します。(☞P.23)

●撮影されると、表示パネルの撮影可能枚数が1枚ずつ減ります。

●一気にシャッターボタンを押すと手ブレの原因となります。

撮影後は、電源をOFFにして、電池の消耗を防いでください。

ピントの合いにくいケース

次のような被写体はピントが合いにくいので、フォーカスロック（☞P.22）を利用して、ほぼ同じ距離にある別の被写体に一度ピントを合わせてから撮影してください。

A. 青空など、明暗差がはっきりしない被写体、または光っている車のボディや水面など光沢のあるもの

B. 連続した繰り返しパターンの被写体

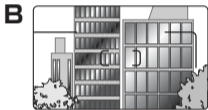
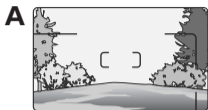
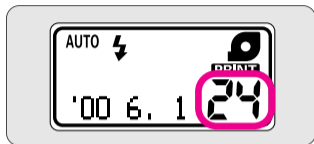
C. フォーカスフレーム内に遠いものと近いものが混在する被写体

D. 太陽などの強い光を背景にした被写体

A

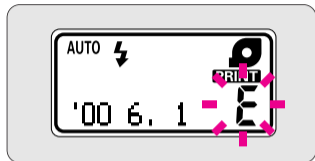
B

C

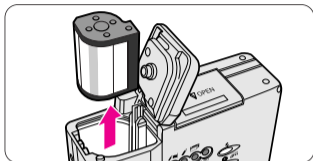
D

フィルムを取り出す

1 自動的に巻き戻しが始まる。

- フィルムを撮り終わると、自動的に巻き戻しが始まり、オレンジランプが点滅し、フィルムカウンターの数値が1枚ずつ減ります。
- 撮影可能枚数が表示されているときは、撮り終わっていません。途中でフィルムを取り出したい場合は、途中巻き戻しを行ってください。（☞P.21）

フィルムを取り出す

2 “E”の点滅を確かめる。

●巻き戻しが終了すると、“E”が点滅します。

●電池容量不足のために巻き戻しが途中で止まったときは、電池を交換すると、巻き戻しが自動的に再開されます。

3 カートリッジカバーを開け、フィルムを取り出す。

“E”が点滅するまで、カートリッジカバーを開けないでください。

●カートリッジの落下を防止するため、カメラの底面を上にしてカートリッジカバーを開けてください。

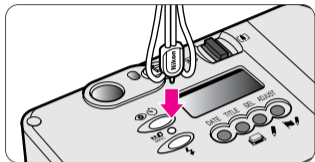
現像・プリントに出す

●フィルムの現像・プリントは、上記の「認定ラボ店マーク」があるお店に出すことをおすすめします。

●現像されたフィルムは、カートリッジに収納されて返却されます。

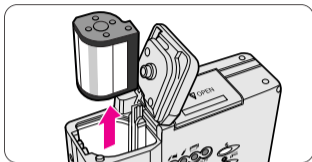
●すべての写真をまとめたインデックスプリントが添付されます。

●詳細はお店にお問い合わせください。

フィルムを途中で巻き戻す

1 MRC ボタンを押す。

●ストラップの止め具の突起やボールペンの先端などで押してください。

●巻き戻しが始まればボタンを押し続ける必要はありません。

●巻き戻しが終了するとオレンジランプが消灯し、“E”が点滅します。“E”が点滅するまでカートリッジカバーを開けないでください。

2 フィルムを取り出す。

▼**カートリッジカバーを開ける。**

▼**フィルムを取り出す。**

▼**カートリッジのDマークを確認する。**

●Dマークになっていれば、フィルムを再装てんすると、撮影済みのコマは自動的に送られ、残りのコマの撮影が行えます。

MRC（カートリッジ途中交換）機能について

●途中まで撮影済みフィルムはMRC（Mid-Roll Change）機能付きカメラ間でのみ交換できます。
フィルムの途中交換ができるニコンカメラにはプロネア600i、プロネアS、ニュービス160i、ニュービスSがあります。

●撮影途中のフィルムを再装てんする際は強い磁気、電磁波を発生しているところ（テレビ、パソコンのディスプレイ、スピーカー、扇風機などの回転中のモーター）の近くは避けて行ってください。

フォーカスロック撮影

写したいものが画面中央にないときに

1 構図を決める。

●上のような場合、写したい被写体がオートフォーカスフレーム“[ ]”から外れるため、背景にピントが合ってしまいます。

2 写したいものにピントを合わせる。

▼写したいものにオートフォーカスフレームを重ねる。

▼シャッターボタンを半押しする。

●ピントが合うと緑ランプが点灯します。

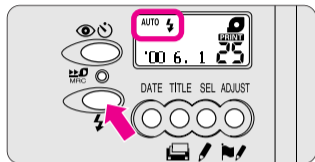
3 構図を戻し、撮影する。

▼シャッターボタンを半押ししたまま、構図を戻す。

▼シャッターボタンを押し込む。

●半押し中は、ピントが固定(フォーカスロック)されます。

●撮影距離は変えないでください。

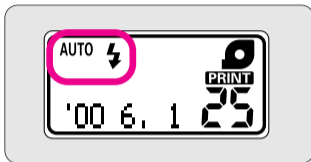
いろいろなフラッシュ撮影

ボタンを押して、以下のモードを選ぶ。

●詳細は参照ページをご覧ください。

AUTO スピードライト自動発光（☞P.23）
スピードライトキャンセル（☞P.24）
スピードライト強制発光（☞P.24）
AUTO SLOW スローシンクロ（☞P.25）

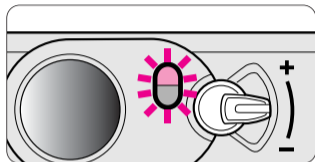
●電源をOFFにしたときは、スピードライト自動発光モードに戻ります。

スピードライト自動発光撮影

被写体が暗いときや逆光時には、フラッシュが自動発光します。

1 電源をONにする。

●"**AUTO**"が表示され、スピードライト自動発光モードにセットされます。

●被写体が暗い場合または逆光の場合、フラッシュが自動的に発光します。

●被写体が明るいと"　"が点灯してフラッシュは発光しません。このときオレンジランプは点灯しません。

2 オレンジと緑のランプの点灯を確認し、撮影する。

●フラッシュ撮影時の撮影距離は下記を目安にしてください。(ISO 200)

（広角）22.5mm時：約0.45～4.2m
（望遠）66mm時：　約0.45～2.8m

●フラッシュが充電中はオレンジランプが点滅し、シャッターがきれません。約8秒後、再度半押しし、オレンジランプが点灯してから、撮影してください。

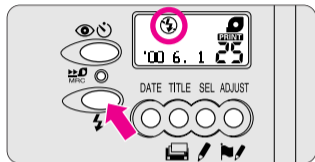
スピードライトキャンセル撮影

フラッシュ撮影が禁止されているときや、夜景の雰囲気を生かしたいときに。

1 ϟボタンを押して、"Ⓢ"を表示させる。

●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいため、三脚の使用をおすすめします。

2 構図を決め、撮影する。

▼シャッターボタンを半押しする。

▼緑ランプの点灯を確認後、撮影する。

スピードライト強制発光

周りの明るさに関係なく、意図的

1 ϟボタンを押して、"ϟ"を表示させる。

応用撮影ガイド

撮影

にフラッシュを発光させたいときに。

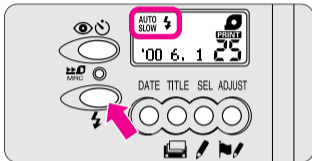
2 構図を決め、撮影する。

▼シャッターボタンを半押しする。

▼オレンジと緑のランプの点灯を確認後、撮影する。

●オレンジランプが点滅しているときは、約8秒後、再度半押しし、オレンジランプが点灯してから、撮影してください。

スローシンクロ撮影

背景となる夜景と手前の人物の両方を、自然な感じに写したいときに。

1 ボタンを押して、“AUTO SLOW ”を表示させる。

●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいため、三脚の使用をおすすめします。

●被写体が明るいと、“ ”が点灯してフラッシュは発光しません。このときオレンジランプは点灯しません。

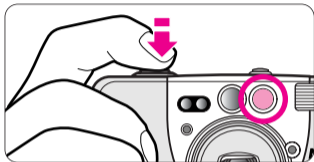
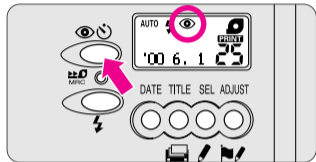
2 構図を決め、撮影する。

▼シャッターボタンを半押しする。

▼オレンジと緑のランプの点灯を確認後、撮影する。

●オレンジランプが点滅しているときは、約8秒後、再度半押しし、オレンジランプが点灯してから、撮影してください。

赤目軽減発光撮影

フラッシュの光で目が赤く写るのを軽減したいときに。

1 ◉🕓ボタンを押して、“◉”を表示させる。

●ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

→(表示なし) 解除
↓
◉ 赤目軽減発光
↓
◉📱🕓 リモコン／セルフタイマー

(☞P.27、28)

2 構図を決め、シャッターボタンを半押しする。

●フラッシュの発光前に、赤目軽減ランプを約1秒間照射させますので、フラッシュが発光するまでカメラを動かしたり被写体が動いたりしないように注意してください。

●赤目軽減発光撮影は、シャッターチャンスを優先させる撮影にはおすすめできません。

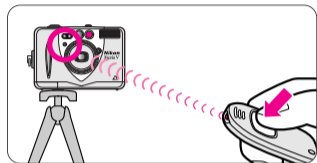
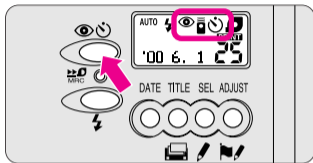
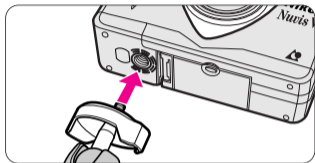
3 オレンジと緑のランプの点灯を確認後、撮影する。

●オレンジランプが点滅しているときは、約8秒後、再度半押しし、オレンジランプが点灯してから、撮影してください。

●赤目軽減発光を必要としない場合は、◉🕓ボタンを押して、“◉”を消灯させてください。赤目軽減発光は、電源をOFFにしても解除されません。

●赤目軽減発光とスピードライトキャンセルは同時にセットできますが、この場合赤目軽減発光撮影は行われません。

リモコン撮影

記念撮影などで離れたところからシャッターをきりたいときに。

1 カメラを三脚などに固定する。

- リモコン撮影可能範囲は、カメラ正面で約5m以内です。それ以上の距離ではセルフタイマーで撮影してください。(☞P.28)
- 極端な逆光状態では、リモコン撮影できない場合があります。

2 ◉⏲ボタンを押して、“◉▮⏲”を表示させる。

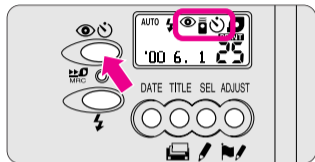
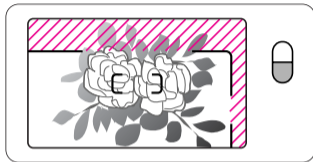
- 撮影しないまま約2分間経過したり、電源をOFFにするとリモコンモードが解除されます。
- リモコン撮影後2分以内であれば、続けてリモコン撮影できます。

3 構図を決め、撮影する。

▼リモコンをカメラに向けて、送信ボタンを押す。

- 送信ボタンを押すと、赤目軽減ランプが約2秒間点灯してから、シャッターがきれます。
- リモコンの電池の使用期間は約10年間です。送信ボタンを押してもシャッターがきれなくなったら、当社サービス機関で電池を交換してください(有料)。

セルフタイマー撮影

記念撮影など、撮影者自身も一緒に写りたいときに。

1 👁⏲ボタンを押して、"👁▮⏲"を表示させる。

●撮影しないまま約2分間経過したり、電源スイッチをOFFにすると、セルフタイマーモードが解除されます。

●カメラを三脚などに固定することをおすすめします。

2 構図を決め、シャッターボタンを押す。

●シャッターボタンを押すと、赤目軽減ランプが8秒間点滅後、2秒間点灯してシャッターがきれます。

●撮影後、セルフタイマーモードは解除されます。

●途中で解除したい場合は、電源をOFFにしてください。

近接撮影

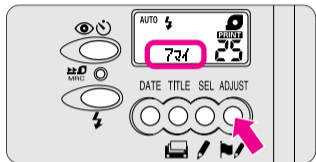
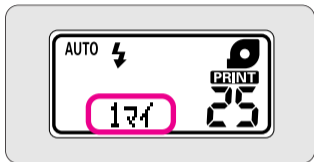
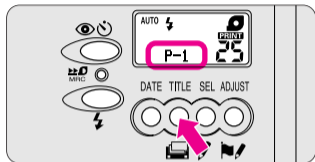
花などを大きく写したいときに。

●撮影距離が約0.45～1mの場合は、上の////の部分は写りません。近距離補正マークの枠内で構図を決めてください。ただし、プリントタイプがPの場合は、近距離補正マークは使用できません。

●撮影距離が約0.45mより近くなると、緑ランプがゆっくり点滅し､シャッターがきれません。

●さらに近づきすぎると、緑ランプが早い点滅に変わり、シャッターはきれますが、ピントは合いません。

同時プリントの枚数を指定する

同時プリントの枚数を1コマごとに最高9枚まで指定できます。

1 撮影の前に、枚数を表示させる。

▼ ボタンを3秒以上押し続け、"P-1"を表示させる。

●同時プリントの枚数は1コマごとに指定できます。

●枚数を指定する場合は、必ずタイトル設定を解除してください。(☞P.31)

●タイトルの言語(☞P.30)が日本語に設定されている場合は、"1マイ"が表示されます。

2 枚数を設定する。

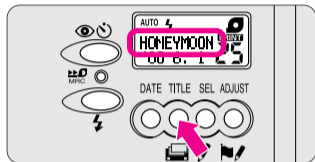
▼ADJUSTボタンを押して、希望の枚数を表示させる。

●ADJUSTボタンを押すごとに、枚数が"1"ずつ増え、9枚まで指定できます。

●撮影後、枚数指定は解除されます。

●撮影前に枚数指定を解除したい場合は"1マイ"を指定してください。

タイトルを入れる

写真のウラ面にタイトルを印字させたいときに。

1 撮影の前に、TITLEボタンを押す。

●ご購入後、初めてTITLEボタンを押したときは、"HONEYMOON"（イギリス英語）が表示されます。

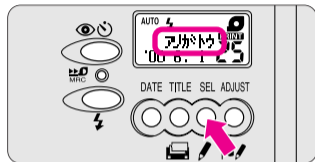
●タイトルは30種類、言語は12種類の中から選べます。（☞P.31）

●撮影すると、表示のタイトルが記録されます。

2 言語を選ぶ。

▼ボタンを押して、希望の言語を表示させる。

●日本語に変える場合には、「JPN」を表示させてください。

●ボタンを2秒以上押し続けると、早送りになります。

3 タイトルを選ぶ。

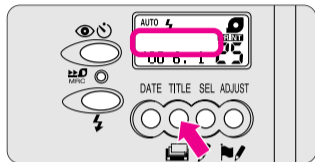
▼ボタンを押して、希望のタイトルを表示させる。

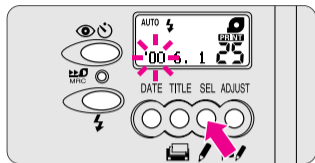
●ボタンを2秒以上押し続けると、早送りになります。

●タイトルは、スクロールして表示されます。スクロール停止後は、先頭の9文字だけ表示します。

言語名の略記一覧表	
表 示	言 語
DEN	デンマーク語
FIN	フィンランド語
FRA	フランス語
GER	ドイツ語
ITA	イタリア語
JPN	日本語
NOR	ノルウェー語
POR	ポルトガル語
ESP	スペイン語
SWE	スウェーデン語
GBR	イギリス英語
USA	アメリカ英語

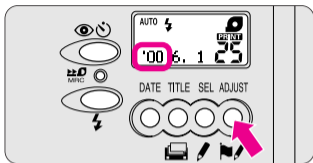
日本語タイトル一覧表	
アケマシテオメデトウ	パーティ
ハツモウデ	アイラブユー
セイジンシキ	アリガトウ
セツブン	オタンジョウビオメデトウ
ヒナマツリ	オメデトウ
ソツギョウ	リョコウ
ニュウガク	ドウソウカイ
コドモノヒ	エンソク
タナバタ	サイコー！
ナツヤスミ	カンゲキ！
ウンドウカイ	コンナニオオキクナリマシタ
シチゴサン	キレイ！
メリークリスマス	シュウガクリョコウ
ボウネンカイ	ガンバレ
シンコンリョコウ	ウレシイナ

日本語以外のタイトルは、別紙の「印字タイトル一覧表」をご覧ください。

●タイトルを入れない場合は、TITLEボタンを押して、タイトルの表示を消してください。

日付と時刻を修正する

1 修正モードにする。

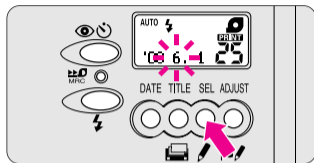
▼**SELボタンを2秒以上押し続ける。**

●“年”が点滅します。

●日付や時刻を修正する場合は、必ずタイトル設定を解除してください。

2 年を合わせる。

▼**ADJUSTボタンを押して、年を合わせる。**

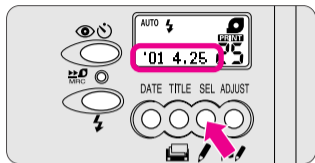
●ADJUSTボタンを押すごとに、“1”ずつ数字が増えます。

●ADJUSTボタンを2秒以上押し続けると、数字が早送りされます。

3 月の修正に移る。

▼**年を合わせたら、SELボタンを押し、月を点滅させる。**

▼**ADJUSTボタンを押して、月を合わせる。**

▼**SELボタンを押す。**

●手順2と3を繰り返し、“日・時・分”を合わせます。

4 修正を終える。

▼分を合わせたら、SELボタンを押す。

●SELボタンを押すと修正された日付が表示されます。

●修正途中に、その他のボタンを操作すると、その時の状態で設定されます。

●イラストの例は **“2001年4月25日”** にセットした状態を表します。

電池を交換した場合

●電池を交換すると、表示パネルには000000が表示されます。

●000000の表示のまま撮影すると、日付や時刻は記録されません。

●前ページの手順1～4に従って、“年月日”と“時分”を合わせてください。

パワーセーブモード

●電源がONのまま、カメラを何も操作しない状態が約2分間続くと、自動的に電源がOFFになり、電池の無駄な消耗を防ぎます。この状態をパワーセーブモードと呼びます。なお、レンズは（広角）側に戻り、表示パネルも消灯します。

●どれかのボタンを押すと、電源は再びONになります。シャッターボタンは半押しで電源がONになります。

●パワーセーブモードでは、かんたんに電源がONになってしまいますので、撮影後は、電源スイッチをOFFにしてください。

故障かな？と思ったら

次のような場合、アフターサービスを依頼される前にご確認ください。

こんなときには	ここを確かめてください	参照ページ
“シャッターがきれない”	●シャッターボタンを押したときオレンジランプが点滅していたら、スピードライトが充電中で、シャッターはきれません。ボタンから指を離して、約8秒後再度半押ししオレンジランプが点灯してから撮影してください。 ●シャッターボタンを押したとき緑ランプがゆっくり点滅していたら、被写体までの距離が近すぎます。もう少し離れて撮影してください。 ●表示パネルに“E”と“ ”マークが表示されていたら、そのフィルムは使用できません。新しいフィルムを入れてください。	16、23 16、28 12、19、20
“スピードライトが発光しない”	●シャッターボタンを押したときオレンジランプが点滅していたら、スピードライトが充電中で、シャッターはきれません。ボタンから指を離して、約8秒後再度半押ししオレンジランプが点灯してから撮影してください。 ●電池容量を確認して、消耗していたら新しい電池と交換してください。 ●表示パネルに“ ”マークが表示されているときは、発光しません。	16、23 11 23
“ピントが合っていない”	●オートフォーカス測距窓がよごれていたら、拭き取ってください。 ●手ブレを起こさないように、シャッターボタンをゆっくり押してください。 ●ピントが合いにくい被写体の場合は、オートフォーカスフレームを確実に被写体に合わせてください。または、フォーカスロック撮影を行ってください。	8 15 19、22

資料編

こんなときには	ここを確かめてください	参照ページ
“カートリッジカバーが開かない”	●フィルムを撮り終えていません。フィルムを撮り終えるか、途中巻き戻しを行って、フィルムの巻き戻しを完了させてください。	12、21
“電源をONにしたとき、表示パネルに何も表示されない”	●電池の⊕／⊖の向きを確かめてください。 ●電池の容量が不足しているか、電池が入っていません。新しい電池を入れてください。 ●新しい電池を入れても、何も表示されない場合は、故障です。ご購入店・カメラ店または最寄りの当社サービス機関へ修理を依頼してください。	11 11 裏表紙
“リモコンの送信ボタンを押してもシャッターがきれない”	●リモコン操作の距離が遠すぎるときは、カメラに近づいてください。 ●リモコンに強い光があたっている場合は、リモコンの位置を変えてください。 ●リモコンの電池の使用期限(約10年間)を過ぎているときは、当社サービス機関で交換してください。ご自分では交換できません。 ●リモコン表示を点灯させた後、何もしない状態が2分以上経過したときは、再度リモコン表示を点灯させてください。	27 27 裏表紙 27

電子制御カメラの特性について

きわめて稀なケースとして、外部から強力な静電気などが侵入したことで、カメラが作動しなくなることがあります。万一このような状態になったときは、電池を一度抜いて入れ直してください。電池を抜くと日付・時刻がリセットされますので、電池を入れ直した後には、日付・時刻を合わせ直してください。(☞P.32)

アフターサービスと保証について

■この製品についてのお問い合わせは

ご意見、ご質問は、最寄りのニコンサービスセンター、サービスステーション等、当社サービス機関へお問い合わせください。

当社サービス機関につきましては、使用説明書裏表紙をご覧ください。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、または当社サービス機関にご依頼ください。

ご転居、ご贈答品などの理由で、ご購入店に修理を依頼することができない場合は、最寄りの販売店または当社サービス機関にご相談ください。

■補修用性能部品について

ニコンNuvis Vの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年間を目安としております。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後におきましても修理可能な場合もありますので、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。
- 水没、火災、落下などによる故障または破損で、全損と認められた場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、当社サービス機関にお任せください。

■製品の保証について

(1) この製品には「保証書」がついていますので、ご確認ください。

(2) 「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様にお渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」がすべて記入された「保証書」をお受け取りになり、内容をお読みの上、大切に保管してください。

(3) 保証規定による保証修理は、ご購入から１年間となっております。「保証書」をお受け取りになりませんと上述の保証修理が受けられないことになりますので、もしお受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

(4) 海外での保証内修理は領収書の提示を求められることがありますので、保証書とともに領収書の携行をお願い致します（領収書がない場合は有料となる場合があります）。

(5) 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛かりはお客様にご負担願います。

(6) 保証期間中や保証期間経過後の修理、故障など、アフターサービスにご不明なことがありましたら、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。

使用上のご注意

カメラについて

- カメラをご使用にならないときは、必ず電源をOFFにしてください。電源がONの状態のままですと、不用意にシャッターボタンが押されて、電池が消耗することがあります。
- Nuvis Vは、防水構造ではありません。水しぶきなどがかからない場所で使用してください。もし水滴がついた場合はすぐに乾いた布でふき取ってください。
- 閉めきった自動車やトランクの中、ストーブの前など、高温になるところに放置しないでください。
- カメラを保管する際は、高温多湿・ホコリっぽい場所、また防虫剤の近くを避けてください。乾燥剤と一緒に保管することをおすすめします。
- スピードライトを連続して発光すると、電池やカメラの温度が上昇します。休ませながら使用してください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ホコリや汚れは、乾いた柔らかい布・市販のブロワーブラシやレンズクリーナーなどで取り除いてください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。また、スピードライトのコンデンサの劣化を防ぐため、1ヵ月に1度を目安に、電池を入れてスピードライトを発光させてください。

電池について

- 付属の電池は、容量が少なくなっている場合があります。ご使用の前に、電池の容量を確認してください。(☞P.11)
- 大切な撮影の前には、必ず電池の容量を確認し、海外旅行などの際には、予備の電池をご用意ください。
- 寒冷地(0℃以下)では、一時的に性能が低下しますので、暖めてからご使用ください。なお、一時的に性能が低下した電池は、通常、常温に戻れば性能を回復します。

IX240フィルムについて

- 海外旅行などで、地域によってはフィルムの入手が困難な場合があります。予備のフィルムを用意しておくことをおすすめします。

主な仕様

型式
ズームレンズ内蔵IX240オートフォーカスAEレンズシャッターカメラ

使用フィルム
IX240カートリッジフィルム（画面サイズ：16.7×30.2mm）

プリントタイプの切り換え
C／H／Pの3タイプのいずれかを選択可能

レンズ
ニコンズームレンズ22.5～66mm　F5.2～7.7、6群6枚（35mm判換算：28～82.5mm）

シャッター
プログラムAE式電子シャッター（絞り羽根兼用）

ファインダー
実像式ズームファインダー、視野率：約85%（Hプリントタイプに対して）、倍率（22.5mm時：約0.34倍、66mm時：約0.85倍）、視度調節：－1.5 ～ ＋1.5Dp

ファインダー内表示
撮影範囲フレーム：**Cタイプ** 撮影範囲フレーム（近距離補正マーク付）、**Hタイプ** 撮影範囲フレーム（近距離補正マーク付）、**Pタイプ** 撮影範囲フレーム、オートフォーカスフレーム、スピードライト発光予告／未充電警告（オレンジランプ点灯／点滅）、測距完了表示（緑ランプ点灯）、近距離警告（緑ランプ点滅2Hz）、測距不能警告（緑ランプ点滅8Hz）

距離合わせ
ワイドエリアパッシブ方式、撮影距離：0.45m～∞、補助光（赤目軽減ランプ）

フォーカスロック
シャッターボタン半押しによるフォーカスロック付き

露出制御
電子制御プログラムAE、AE連動範囲（ISO200）：EV6～17（22.5mm）／EV6～18（66mm）、スピードライト自動発光

使用可能フィルム感度
ISO 50、100、200、400、800、1600は自動セット

フィルム装てん
ワンタッチローディング空送り機構内蔵、フィルム誤装てん防止機能付

フィルムカウンター
撮影可能枚数を表示

セルフタイマー
電子制御式、シャッターボタンによるスタート、ボディ正面に作動表示（作動時間：10秒、点滅／点灯2段階）

フィルム巻き上げ機能
内蔵モータによる電動式（スプールドライブ方式）、自動空送り、フィルム最終コマ検出による自動巻き戻し、途中巻き戻し可

リモートコントロール機能
専用赤外光を利用、送信ボタンによるスタート、2秒後にシャッター作動、設定時間：約2分、到達距離：カメラ正面で約5m、ボディ正面に作動表示、送信機電池寿命：約10年、大きさ：約60×27×10mm（幅×高さ×厚み）、重量：約13g（電池含む）

スピードライト
自動発光、発光禁止、強制発光、スローシンクロの4モード切り換え可能、自動スピードライトモード設定時低輝度時／逆光時自動発光、未充電時シャッターボタンロック付、スピードライト連動範囲：（ISO 200の場合）約0.45～4.2m（22.5mm時）約0.45～2.8m（66mm時）、充電時間：約8秒

赤目軽減モード
設定時、スピードライト発光する場合にランププリ照射（約1秒間点灯）

撮影可能本数
25枚撮りフィルム約10本（50%スピードライト撮影時）

表示パネル
電源スイッチON時：フィルムカウンター、スピードライト表示、赤目軽減表示、リモコン／セルフタイマー表示、カートリッジ在中表示、バッテリーチェック表示、データ記録表示、タイトル表示、デート／同時プリント枚数表示

使用電源
3Vリチウム電池 CR2×1個

データ記録機能
磁気記録方式、デート／タイトル／プリント枚数指定機能

デートの種類：年・月・日・時・分（24時間制）、[年・月・日]、[月・日・年]、[日・月・年]、[時・分]、[記録なし]（切り換えは押しボタン式、2030年まで月末、うるう年自動調整、データ早送り修正可能）、電源：ボディの電源を使用、時計精度：月差±90秒以内

タイトル記録機能：12言語、各30タイトルをプリントウラ面に印字可能

プリント枚数指定機能：1～9枚まで設定可能

大きさ（幅×高さ×奥行き）
約91.5×62×30mm

質量（重さ）
約155g（電池別）

- データはすべて、20℃、新品電池使用時のものです。
- 製品の外観、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。